

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

高上の夏に来たオープンキャンパスで初めて音楽文化専攻の存在を知り、音楽についてより深く学んでいきたいと思い志望校に決めました。また、高校が所属していた軽音楽部で少し取り組んでいた作曲についてもかなりの知識を付けていきたいと思っていました。

(2) 一般入試対策としての受験勉強、実技試験対策の進め方について。 ※音楽学科入試課題については、『2019年度音楽学科入試課題』で必ずご確認ください。

[1学期]

高上の1学期の頃はまた両親に進学先を反対されてしまいました。部活動が忙しいこともあり、あまり受験を意識して勉強ができていませんでした。しかし、両親を説き得るために試験方法や学校のことを自分なりに調べました。

[夏休み]

塾が開くまで毎日学校に通い1時間実技の練習をしていました。AO入試の課題文など、ある事はたくさんありましたが、夏休み期間には実技か学科か受験方法を決められなかったことで、どちらになっても困らないようにできるだけ両立できるように努力していました。

[2学期～入試直前]

推薦入試は筆記で受けたので11月半ばまでは実技の練習は全くしていませんでした。推薦の結果が出たからもしばらくは一般の受験方法を決められなかったのが本格的に実技の準備を始めたのは12月頃からです。楽典の勉強は基礎の部分には知っていたので問題形式を把握した上で過去問で間違った問題をやり直しました。小論文の対策としては過去問を何度もやり直したり、何冊か本を読んで知識をできるだけ付けました。

(3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私は主に勉強と実技の練習を並行させていたことでお互いが良い息抜きになり、これもありつらさと思うことはありませんでした。部活動は7月までだったことであまり受験に影響はありませんでした。テレビやスマートフォンは1日で使う時間を決めました。ご飯を食べている間や、送迎の車の中など、意識的にというよりは、気付いたら自分なりのルーティーンができていて、それ以外の時間で使うことはあまりなかったです。

(4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験に対して色々な不安があると思いますが、周りの雰囲気は流されず、自分の思ったように努力し続けなければ必ず望んでいたことが叶うはずです！友人や家族、学校の先生など、支え、応援してくれてる人達がたくさんいること、その人達への感謝を忘れずに、頑張ってください！！